

メデイカルシティー土浦
構想について



寺内 充 議員

質問 メデイカルシティー構想とは、病院を核とした医療のグローバル化と広域防災化、それに雇用等の調達の3点から私は考えている。土浦協同病院を市内に建設していただければ、医療は当然のこと、将来本市全体の、相当の経済的な波及が見られると思われるが、見解を伺う。

市長 土浦協同病院の建設地については、まだ最終的な結論には至っていないと考えている。病院は、まちの核となる施設であることから、議員ご提案の構想を考えると上でも、是非土浦協同病院が本市内に建設していただければ、今後強く要望するとともに、構想については、諸制度など勉強させていただきたいと考えている。

(掲載以外の質問事項)
・合併特例債事業の進捗状況について

新図書館にふるさと文庫
コーナーを設置すること
について



海老原一郎議員

質問 本市内のある出版社が「ふるさと文庫」という図書を刊行しており、その内容は、地域の視点から見た庶民の生活の記録や、歴史、地史、文学、宗教、政治、経済と多種多様なテーマで発刊されていた。その業績は素晴らしく、高く評価する市民も多いことから、今後整備される新図書館においては、「ふるさと文庫」単独のコーナーを設置していただきたい。

次長 ふるさと文庫については、現図書館で700冊余り所蔵しており、本市にゆかりのある図書については50冊ほどとなっている。新図書館整備計画では、4階に調査・研究・郷土資料コーナーを設置する予定になっていることから、ふるさと文庫についても郷土資料として配架したいと考えている。

(掲載以外の質問事項)
土浦市公式ホームページの
活用について



読み書きに困難を伴う障がいのある子どもたちのためのデジタル教科書(デジタル教科書)について



吉田千鶴子議員

質問 デイジー教科書とは、教科書の文章やイラストなどの情報、データをパソコンの画面に写し出して使うものであり、文章の読み上げ、文字の拡大など、発達障害児が理解しやすいものとなっている。こうしたデイジー教科書の学校現場での活用の可能性について、見解を伺う。

デイジー教科書について
は、文部科学省がその有効性を検証するため、平成21年度から調査研究を進めていくとのことである。来年度以降、デイジー教科書が特別支援教育のための、いわゆる文部科学大臣の検定を経た教科用図書になれば、選定協議会の中で検討していただけるものと考えているが、現在その検定の中に入っていない。今後、文部科学省の中で調査研究され、検定の対象となれば十分配慮されるべきだと考えている。

(掲載以外の質問事項)
・イメージキャラクター「つちまる」と地球温暖化防止キャラクター「フーチャン」の今後の活用PRについて

・土浦市のゴミ行政について



写真提供：財団法人 日本障害者リハビリテーション協会

県道牛渡馬場山線(神立地区付近)の拡幅工事について



川原場明朗議員

質問 私は、平成15年に県道牛渡馬場山土浦線、神立地区内の常磐線寄居踏切から神立出張所方面への871メートルの道路拡幅工事を要望し、今日事業を進めていただいているところである。一部地権者の境界未確定があり、買収が進んでいないが、早期完成を目指していただきたい。

部長 平成21年度末の進捗状況は、約160メートルが整備済みで、事業費ベースの進捗率では約50%、残りが約710メートルである。一部の地権者の境界が未確定であり、そのため用地の協力が得られないことから、事業主体である県と一緒に地権者にお会いし、未確定境界の合意をいただけるよう努力してまいりたい。また、より多くの予算確保に向け、県に対して要望を行ってまいりたい。